



「先端の建築家教育について語る」



芝浦工業大学建築学部開設

建築家は必ずと言ってよいほど、学生時代に最初に触れた建築と人に大きく影響される。

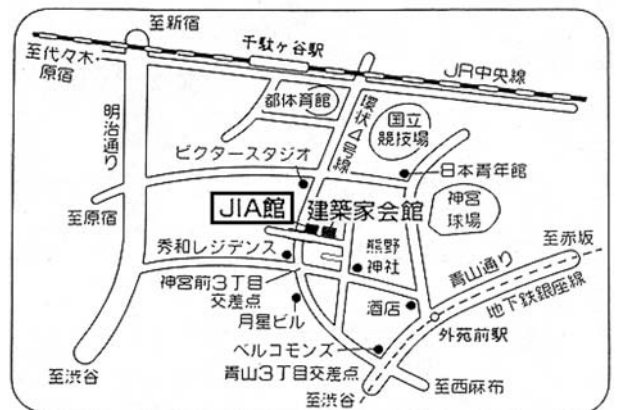
日本の近代建築教育は1877年(明治10年)に英国人ジョサイア・コンドルを工部大学校に招聘したことが、日本の近代建築の黎明期の失敗だったのかもしれない。

建築家を養成するY-GSA開設



堀越英嗣 × 北山恒

- 日時 : 2017年7月14日(金) 19:00 ~ 21:00 (18:30 受付開始)
- 場所 : 日本建築家協会 JIA 館 1F 建築家クラブ
渋谷区神宮前 2-3-18 (TEL : 03-3408-8291)
- 主催 : 建築家クラブ運営 WG (部会長 日高敏郎)
- 協賛 : NPO 建築家教育推進機構
- 参加費 : 一般 1500 円 (飲食物代含む) 学生無料
- C P D : 認定プログラム 2 単位
- 参加資格 : どなたでも参加可能です。
- 申込 : <https://goo.gl/mKpT3V> (自動受付)
- 定員 : 80 名 (定員オーバーの際は、キャンセル待ちとなります。)
- 問合せ : frdmjia@gmail.com 当日 : 070-1265-7008 (佐藤)

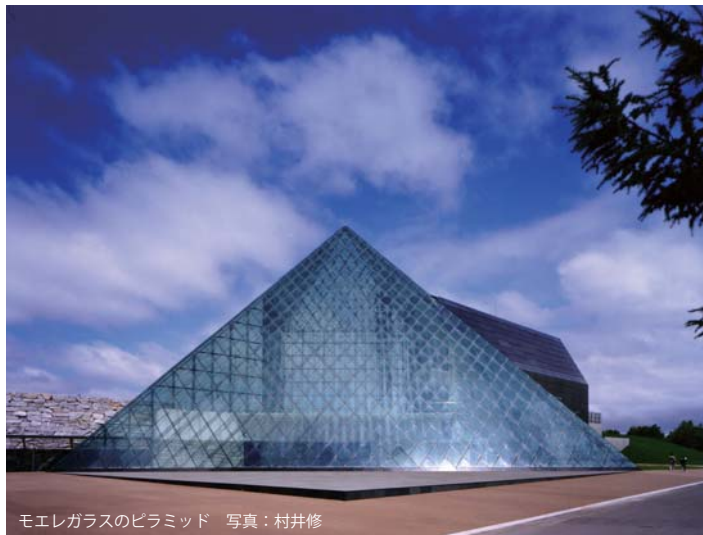




堀越英嗣
Hidetsugu Horikoshi

株式会社 堀越英嗣
ARCHITECT 5 代表
JIA フェロー会員
芝浦工業大学教授建築学部長

1953年 東京生まれ
1976年 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1978年 同大学院修了後、丹下健三・都市・建築設計研究所
1986年～2005年 アーキテクトファイブ共同主宰
2004年～ 芝浦工業大学教授
2017年4月～ 建築学部長
現在 堀越英嗣 ARCHITECT5 代表
近作：五島美術館改修、正願寺等
受賞：イサム・ノグチと共同した札幌モエレ沼公園で日本建築学会賞（業績）、同作品選奨、グッドデザイン大賞、新潟駅駅舎駅前広場競技設計最優秀賞、BCS 賞、日本建築士会連合会賞優秀賞、日本建築美術工芸協会賞、土木学会デザイン賞最優秀賞等



モエレガラスのピラミッド 写真：村井修

生涯建築に情熱を保ち続ける気持ちをインスパイヤーすること

建築家は必ずと言ってよいほど、学生時代に最初に触れた建築と人に大きく影響されると考えている。私の場合も例外ではない。入学した1972年の東京藝術大学は直前に吉村順三が定年前に教授を退官し、非常勤講師として3年の建築論の授業を受け持っていた。1学年15人ではあったが、私たち1年生は貴重な話を聞きたいと思い3年の授業の最初に出席したが吉村先生が学生で溢れている狭い教室に入ると、「君たちは何年生だ」と聞かれ、1年生と応えると、「まだ君たちには早い」と言って、教室から出るように言われてしまった。とても残念である気持ちと何を話されているかがとても気になり、壁に耳を当てて聞こうとしていた事を思い出す。吉村先生の教育に対する厳しい姿勢を知ったと同時に、実は建築を目指す学生の心に火を付けていたことを今になって思う。受験前に見た、当時の芸大建築の募集資料の中に、「生涯建築に情熱を保ち続ける人を求める」とあったことが今でも強烈に印象に残っている。（堀越英嗣）



北山恒
Koh Kitayama

有限会社 architecture
WORKSHOP 主宰
法政大学教授

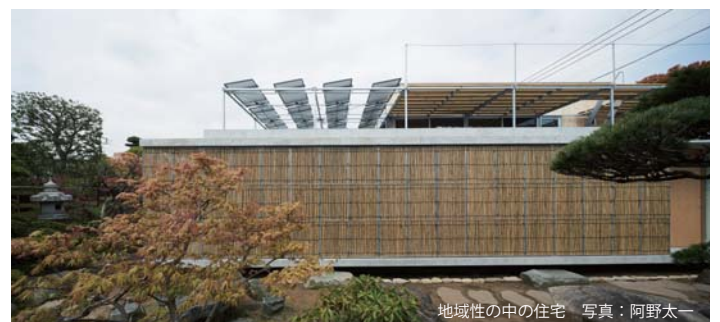
1950年 香川県生まれ
1976年 横浜国立大学建築学科卒業
1978年 ワークショップ設立（共同主宰）
1980年 横浜国立大学大学院修士課程修了
1995年 architecture WORKSHOP 設立主宰
2001年 横浜国立大学教授
2007年 横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授
2016年～ 法政大学教授
代表作品：「洗足の連結住棟」「祐天寺の連結住棟」
受賞：日本建築学会作品賞、ARCASIA 建築賞ゴールドメダル、日本建築学会作品選奨、日本建築家協会賞等
主な著書：「in-between」（ADP）、「都市のエージェントはだれなのか」（TOTO 出版）



洗足の連結住戸 写真：阿野太一

建築家教育について

日本の近代建築教育は1877年（明治10年）に英国人ジョサイア・コンドルを工部大学校に招聘したことに始まります。19世紀中葉の西欧では、建築家教育という制度が整っていたのはボザールやポリテクニクなどのアカデミーのあったフランスだったのですが、まともな建築教育を受けていない英国からの青年を招聘したのが、日本の近代建築の黎明期の失敗だったのかもしれない。（北山恒）



地域性の中の住宅 写真：阿野太一